

下田港 津波防災情報図（進入図）

計算条件：最高水面

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。



凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線(分)
- 経時変化図出力点

最大水位上昇

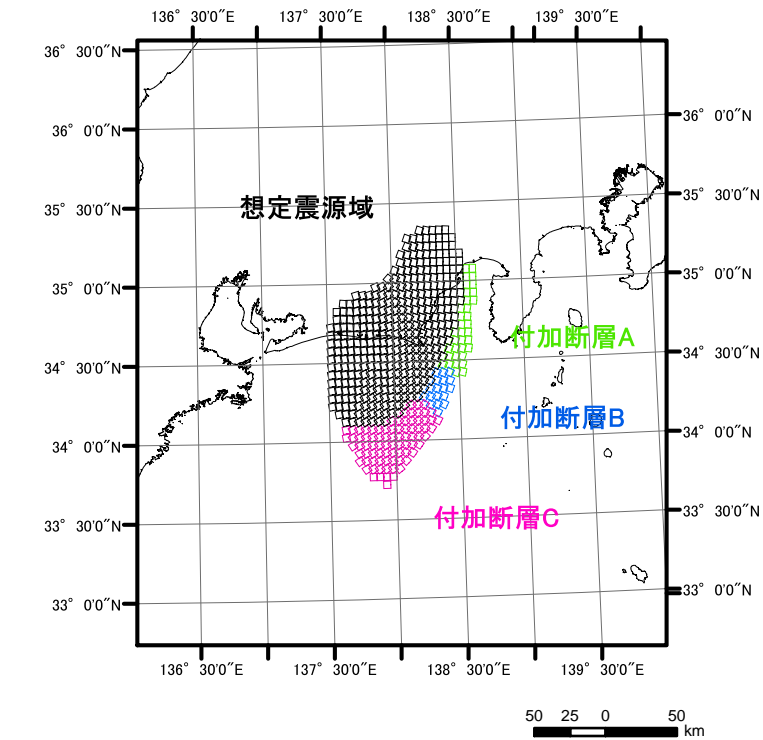
- 600～最大660cm
- 550～600cm
- 500～550cm
- 450～500cm
- 400～450cm
- 350～400cm
- 300～350cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm

進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- ・津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を出している。
- ・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

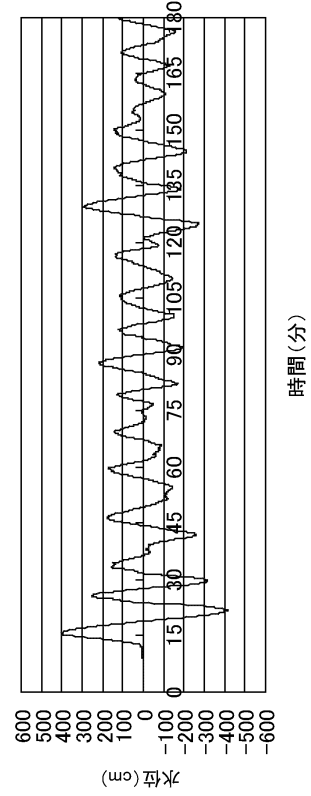
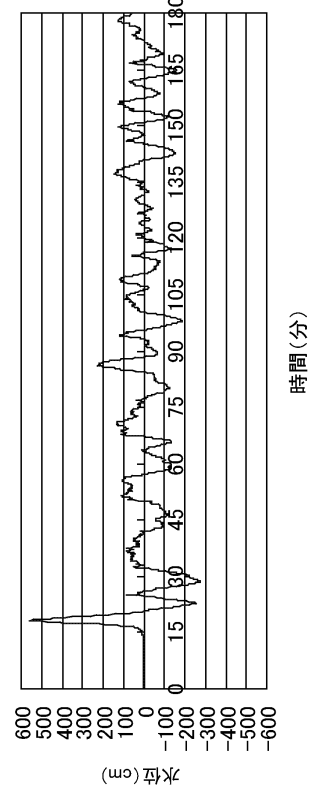
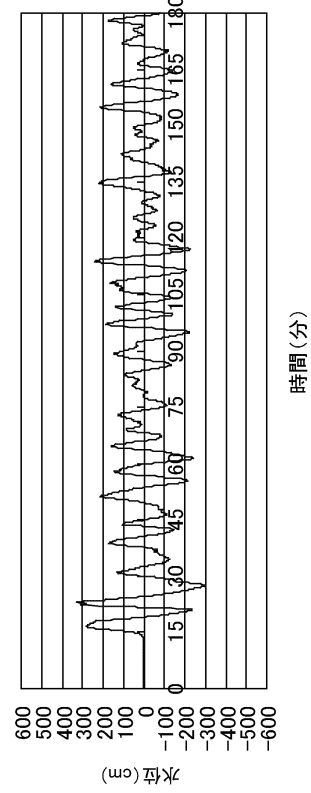
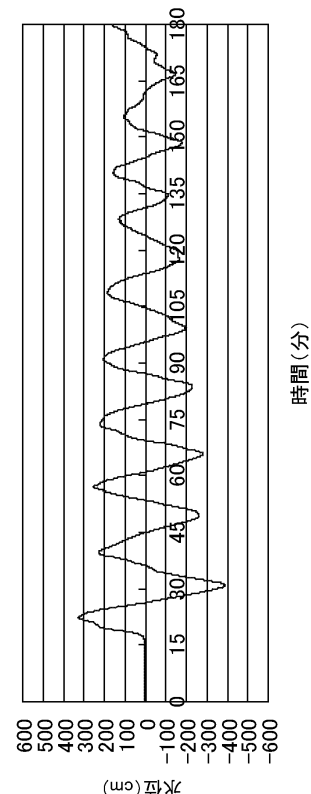
想定震源域と付加断層の位置



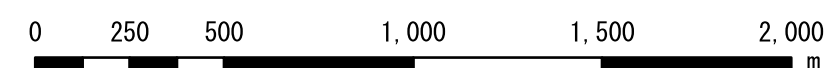
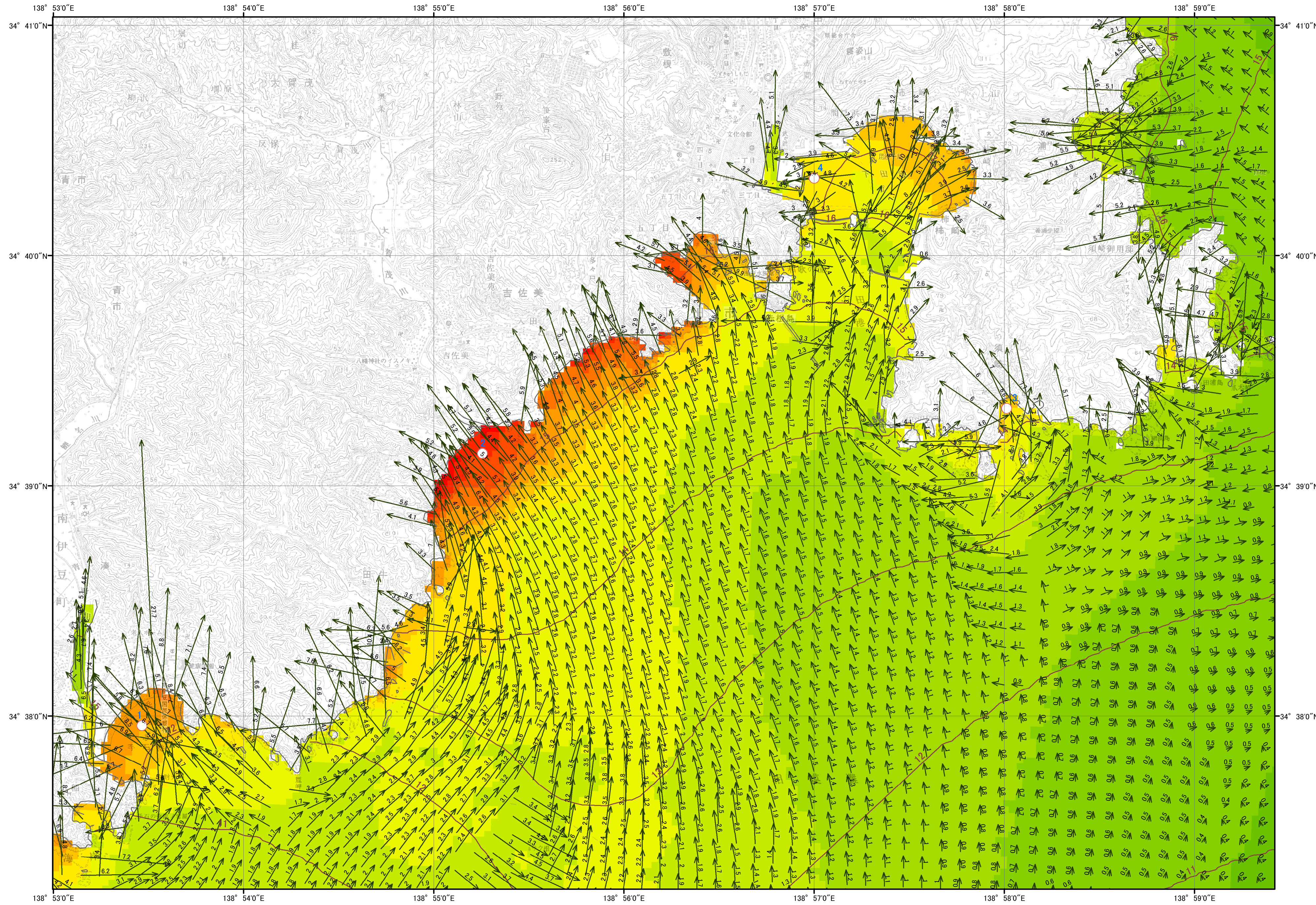
| | 中央の概位 | 中央の深さ |
|--------|-----------------------|-------|
| 想定震源域 | 34° 45' N, 138° 02' E | 19km |
| 付加断層 A | 34° 45' N, 138° 30' E | 4km |
| 付加断層 B | 34° 15' N, 138° 20' E | 6km |
| 付加断層 C | 34° 00' N, 138° 00' E | 7km |

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会（平成13年12月11日）」で公表された断層モデルを使用した。

作成機関：海上保安庁
 作成年月：平成15年 3月（初版）
 第2回改訂：平成16年 3月（ver.1.2）



経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
 (承認番号 平15総復、第673号)
 ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。
 (承認番号 平15総使、第672号)